

「早稲田大学 IPS・北九州コンソーシアム」総会・情報共有会

日 時：2025 年 6 月 6 日（金）14：15～17：00

会 場：大学院情報生産システム研究科 N 棟 N159 教室および遠隔(Zoom)

○プログラム

開 会

第一部 総会

[議事]

- 早稲田大学 IPS・北九州コンソーシアム 規約の改訂の件
- 2024 年度活動報告の件
- 2025 年度活動計画の件
- 理事等の選任の件
- リカレント事業設置の件
- その他

第二部 情報共有会

- 15:00-15:05 開会挨拶
- 15:05-16:05 情報共有 1
「近年のデジタルものづくり戦略」
早稲田大学 藤本隆宏教授
- 16:05-16:20 情報共有 2
学生発表
- 16:20-16:40 情報共有 3
DX 部会、人材育成部会の活動について
事務局より報告
- 16:40-16:55 情報共有 4
「デザイン思考勉強会」発足について
コンソーシアム会長より
- 16:55-17:00 閉会挨拶

閉 会

以 上

2025年5月30日現在

【企業・団体名】 ※五十音順

i6コンサルティンググループ株式会社
有限会社ICSSAKABE
株式会社IDCフロンティア
アイム電機工業株式会社
旭化成エンジニアリング株式会社
旭興産株式会社
株式会社アドバンテスト
アドバンテック株式会社
有限会社インテリジェントパーク
株式会社インフォグラム
株式会社ヴィンテージ
AI CROSS株式会社
株式会社エンブリッチ
株式会社オーネスト
オリックス株式会社
株式会社北九州銀行
公益財団法人北九州産業学術推進機構
京都電子工業株式会社
株式会社クアンド
KiQ Robotics株式会社
KOA株式会社 北九州研究所
株式会社コクリエシステムズ
株式会社小松製作所
株式会社さくらコミュニティサービス
シャボン玉石けん株式会社
株式会社産業タイムズ社
START LANDS INC.
株式会社スプレッドワン
株式会社正興電機製作所
有限会社ゼムケンサービス
ソフトバンク株式会社 法人事業統括クラウドエンジニアリング本部
大和ハウス工業株式会社
WTC Company 株式会社
株式会社高田工業所
株式会社TMEIC
トヨタ自動車九州株式会社

トヨタモビリティサービス株式会社
豊田油気株式会社
中野電話工業株式会社
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
株式会社日本統計センター
熱産ヒート株式会社
株式会社野村総合研究所
株式会社Harmonik
Hubbit株式会社
株式会社ヒューマンリソース・デベロップメント
PTCジャパン株式会社
株式会社FoxitJapan
株式会社福岡銀行北九州本部
フォースウェーブ・パートナーズ株式会社
株式会社プラスアドグループ
株式会社プロデュース
株式会社フロムエイトクリエーション
富士ソフト株式会社
株式会社フジコー 技術開発センター
ミシマ・オーエー・システム株式会社
三島光産株式会社
株式会社薬心堂
ヤフー株式会社
株式会社YMFG ZONEプランニング
楽々屋コンサルティング
株式会社リョーフ
リンクソフトウェア株式会社
株式会社ロココ
ワークラボ株式会社
ワイルド化成株式会社

以上

早稲田大学IPS・北九州コンソーシアム 規約の改訂について

1. 提案

「早稲田大学IPS・北九州コンソーシアム 規約」の改訂を下表の通り提案したい。

新旧対照表 早稲田大学IPS・北九州コンソーシアム 規約（案）

現 行	改 訂
（名称） 第1条 本団体は、早稲田大学IPS・北九州コンソーシアム（Waseda University IPS Kitakyushu Consortium；以下「コンソーシアム」という）と称する。 （目的） 第2条 産業界、自治体等と、早稲田大学大学院情報生産システム研究科との連携体制を構築し、極めて実践的な人材育成と、地域や産業と一体となった教育研究活動を展開することにより、今後の我が国、および、アジアを中心とする国・地域の発展のために大きく寄与することを目的とする。 （事業） 第3条 コンソーシアムおよびその会員は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 一 講演会・各種セミナー等の開催 二 早稲田大学の関係する学会活動への参加 三 早稲田大学と連携したプロジェクト研究の実施 四 早稲田大学北九州キャンパスでの研究室開設による早稲田大学および会員間の連携活動 五 早稲田大学の教育・研究活動への参画 六 その他コンソーシアムの目的を達成するために必要な活動 （会員） 第4条 コンソーシアムの会員は、第2条に規定する目的に賛同し、入会の承認を受けた企業・団体等とする。 （会員の入退会） 第5条 コンソーシアムに入会を希望する者は、所定の様式により入会申込書を事務局に提出し、会長の承認を得るものとする。 2 会員が退会を希望する場合は、所定の様式により退会申込書を事務局に提出するものとする。	（名称） 第1条 本団体は、早稲田大学IPS・北九州コンソーシアム（Waseda University IPS Kitakyushu Consortium；以下「コンソーシアム」という）と称する。 （目的） 第2条 産業界、自治体等と、早稲田大学大学院情報生産システム研究科との連携体制を構築し、極めて実践的な人材育成と、地域や産業と一体となった教育研究活動を展開することにより、今後の我が国、および、アジアを中心とする国・地域の発展のために大きく寄与することを目的とする。 （事業） 第3条 コンソーシアムおよびその会員は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 一 講演会・各種セミナー等の開催 二 早稲田大学の関係する学会活動への参加 三 早稲田大学と連携したプロジェクト研究の実施 四 早稲田大学北九州キャンパスでの研究室開設による早稲田大学および会員間の連携活動 五 早稲田大学の教育・研究活動への参画 六 その他コンソーシアムの目的を達成するために必要な活動 （会員） 第4条 コンソーシアムの会員は、第2条に規定する目的に賛同し、入会の承認を受けた企業・団体等とする。 （会員の入退会） 第5条 コンソーシアムに入会を希望する者は、所定の様式により入会申込書を事務局に提出し、会長の承認を得るものとする。 2 会員が退会を希望する場合は、所定の様式により退会申込書を事務局に提出するものとする。

現 行	改 訂
(会費) 第6条 コンソーシアムの会費は無料とする。ただし、会員がコンソーシアムの事業への参加にあたって生じる経費については、個別に定めるものとする。 (役員) 第7条 コンソーシアムに次の役員をおく。 一 会長 1名 二 理事 若干名 三 監事 若干名 2 会長は、早稲田大学大学院情報生産システム研究科長の職にある者をもって充てる。 3 理事および監事は、会長の推薦した者につき、次条に規定する総会において選任する。 4 会長は、コンソーシアムを代表し、その会務を総括する。 5 役員は、理事会の構成員としてその役割を担う。 6 役員の任期は1年とする。ただし再任を妨げない。 (顧問) 第8条 コンソーシアムの運営に関し助言を得るために、顧問を若干名おくことができる。 2 顧問への就任は、会長の推薦に基づき、総会の議を経て決定する。 3 顧問の任期は1年とする。ただし再任を妨げない。 (総会) 第9条 総会はコンソーシアム会員をもって構成する。 2 総会は、会長が招集し、かつ議長を務める。 3 総会は、委任状を含む二分の一以上の出席がなければ開催することができない。 4 総会の議事は、出席した会員の過半数をもって決するものとする。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。 5 総会は、コンソーシアムの設立および解散を議決するほか、次の事項を議決する。 一 本規約の改正 二 会長を除く役員の選任 三 その他コンソーシアムの運営に関して重要な事項 6 第4項本文の規定にかかわらず、コンソーシア	(会費) 第6条 コンソーシアムの会費は無料とする。ただし、会員がコンソーシアムの事業への参加にあたって生じる経費については、個別に定めるものとする。 (役員) 第7条 コンソーシアムに次の役員をおく。 一 会長 1名 二 理事 若干名 三 監事 若干名 2 会長は、早稲田大学大学院情報生産システム研究科長の職にある者をもって充てる。 3 理事および監事は、会長の推薦した者につき、次条に規定する総会において選任する。 4 会長は、コンソーシアムを代表し、その会務を総括する。 5 役員は、理事会の構成員としてその役割を担う。 6 役員の任期は1年とする。ただし再任を妨げない。 (顧問) 第8条 コンソーシアムの運営に関し助言を得るために、顧問を若干名おくことができる。 2 顧問への就任は、会長の推薦に基づき、総会の議を経て決定する。 3 顧問の任期は1年とする。ただし再任を妨げない。 (総会) 第9条 総会はコンソーシアム会員をもって構成する。 2 総会は、会長が招集し、かつ議長を務める。 3 総会は、委任状を含む二分の一以上の出席がなければ開催することができない。 4 総会の議事は、出席した会員の過半数をもって決するものとする。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。 5 総会は、コンソーシアムの設立および解散を議決するほか、次の事項を議決する。 一 本規約の改正 二 会長を除く役員の選任 三 その他コンソーシアムの運営に関して重要な事項 6 第4項本文の規定にかかわらず、コンソーシア

現 行	改 訂
ムの解散を議決するときは、出席した会員の三分の二以上の同意を要するものとする。 7 会長は、会員の三分の二以上の申し出があるときは、総会を招集しなければならない。 (理事会) 第10条 理事会は、役員をもって構成する。 2 理事会は、会長が招集し、かつ議長を務める。 3 理事会は、委任状を含む二分の一以上の出席がなければ開催することができない。 4 理事会の議事は、出席した役員の過半数をもって決するものとする。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。 5 理事会は、次の事項を議決する。 一 総会の議決した事項の執行に関する事項 二 総会に付議すべき事項 三 その他総会議決を要しない活動の執行に関する事項 (事業年度) 第10条の2 コンソーシアムの事業年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。 (事務局) 第11条 コンソーシアムの事務局は早稲田大学大学院情報生産システム研究科内に置く。 〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7 早稲田大学大学院情報生産システム研究科 (雑則) 第12条 本規約に定めるもののほか、コンソーシアムの運営に関し必要な事項は、理事会の議を経て、会長が定める。	ムの解散を議決するときは、出席した会員の三分の二以上の同意を要するものとする。 7 会長は、会員の三分の二以上の申し出があるときは、総会を招集しなければならない。 (理事会) 第10条 理事会は、役員をもって構成する。 2 理事会は、会長が招集し、かつ議長を務める。 3 理事会は、委任状を含む二分の一以上の出席がなければ開催することができない。 4 理事会の議事は、出席した役員の過半数をもって決するものとする。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。 5 理事会は、次の事項を議決する。 一 総会の議決した事項の執行に関する事項 二 総会に付議すべき事項 三 その他総会議決を要しない活動の執行に関する事項 (書面等による決議) 第11条 会長が理事会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき委員の3分の2以上が書面または電磁的記録により意思表示をし、その全員が同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。 2 会長は、前項の規定により理事会の決議があったものとみなしたときは、その旨を次の総会において報告しなければならない。 (事業年度) 第12条 コンソーシアムの事業年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。 (事務局) 第13条 コンソーシアムの事務局は早稲田大学大学院情報生産システム研究科内に置く。 〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7 早稲田大学大学院情報生産システム研究科 (雑則) 第14条 本規約に定めるもののほか、コンソーシアムの運営に関し必要な事項は、理事会の議を経て、会長が定める。

現 行	改 訂
附 則 この規約は、２０１７年１月１１日から施行する。 附 則 この規約は、２０１８年４月２０日から施行する。 附 則 この規約は、２０２２年６月３日から施行する。	附 則 この規約は、２０１７年１月１１日から施行する。 附 則 この規約は、２０１８年４月２０日から施行する。 附 則 この規約は、２０２２年６月３日から施行する。 <u>附 則</u> <u>この規約は、２０２５年６月６日から施行する。</u>

IPSKC 2024年度の年間活動内容(実績)

2025.6.6

	2024年										2025年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な活動項目			 5/31 総会 情報共有会				 9/4-7 電気学会 C部門大会	 10/28 情報共有会  10/17 DX部会 (2部会合同)	 10~2月 リカレント教育実施  11/9~1/31 リカレント教育	 12/6 情報共有会  12/8 みんなの科学広場in唐津  11/7-8 IPSシンポジウム		 2/21 情報共有会  12/11 DX部会	
						 8/18-26 北九州市インターンシップ (早大基幹理工学部IPSコース学生)							

- 2024/5/31 総会、情報共有会 講演: YUMI W. KIMURA氏(CO-FOUNDER & CEO at LEAD) Organizational Relationship Intelligence、講演: 伍 軍氏(早稲田大学IPS教授) Blockchain and Web3.0、学生発表: 朝倉 啓心氏(IPS修士学生)
- 2024/10/28 情報共有会 講演: 猪口 純路氏(小樽商科大学教授) マーケティングについて、講演: 藤村 茂氏(早稲田大学IPS教授) IPSスマートインダストリー研究室の紹介、講演: 久世 健人氏(アイキューブデジタル、ドーワテクノス) MESについて
- 2024/12/6 情報共有会 講演: 丹沢 徹氏(早稲田大学IPS教授) IoTエッジ端末のバッテリー交換を不要にする電源回路技術、講演: 芹田 和則氏(早稲田大学IPS教授) テラヘルツ波を利用した半導体評価・センシングへの応用、講演: 溝田 カ三氏(ミシマ・オーエー・システム株式会社) モデル事業について、会社紹介: AI Cross株式会社、有限会社インテリジェントパーク
- 2024/2/21 情報共有会 講演: 山本 和良氏(ヨシカワメイブル株式会社) デジタルマニュファクチャリング、講演: (プラスアドグループ) 北九州市との連携協定およびベトナムIT高度人材育成活用、講演: 河村 博文氏(株式会社ロココ) ケアロボット、顔認証、講演: 後藤 智氏(IPSセンター) ビジネスプロセスワークショップ

IPSKC 2025年度の年間活動計画

2025.6.6

	2025年										2026年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な活動項目				● 6/6 総会 情報共有会			● 9月上旬 情報共有会			● 11月下旬～12月上旬 情報共有会		● 2月下旬～3月上旬 情報共有会	
			▲ 5月 DX部会	▲ 6月 DX部会	▲ 7月 DX部会	▲ 8月 DX部会	▲ 9月 DX部会	▲ 10月 DX部会	▲ 11月 DX部会	▲ 12月 DX部会	▲ 1月 DX部会	▲ 2月 DX部会	▲ 3月 DX部会
					▲ 7月～12月 早稲田佐賀高校DXハイスクール			▲ 10月～12月 リカレント教育					
						■ 8月下旬(予定) 北九州市キャリアデザインプログラム (早大基幹理工学部IPSコース学生)				■ 11/下旬予定 IPSシンポジウム			

・情報共有会については、オンライン(Zoom)および対面での開催を予定しています。詳細が決まり次第、皆様にご連絡申し上げます。

早稲田大学 IPS・北九州コンソーシアム理事等の選任の件

「早稲田大学 IPS・北九州コンソーシアム 規約」第 7 条第 3 項および第 8 条第 2 項の規定に基づき、以下の候補者を理事および顧問に選任する。

1. 理事候補者

氏名	所属	役職	区分
柴田 泰平	北九州市	産業経済局長	再任
後藤 智	(個人)	—	再任
仲村 公孝	株式会社 高田工業所	取締役 兼 執行役員	再任
吉江 修	早稲田大学	理工学術院教授・情報アーキテクチャ分野	再任
橋本 健二	早稲田大学	理工学術院教授・生産システム分野	再任
芹田 和則	早稲田大学	理工学術院准教授・集積システム分野	新任

(ご参考) 退任

氏名	所属
池橋 民雄	早稲田大学

2. 顧問候補者

氏名	備考	区分
大川 博己	元 IPS・北九州コンソーシアム理事 期間：2017 年 3 月 27 日～2022 年 6 月 2 日 現 IPS・北九州コンソーシアム顧問 期間：2022 年 6 月 3 日～2025 年 6 月 6 日	再任

以上

デザイン思考勉強会（案）

主旨

令和6年度人材育成推進事業補助金、リカレント教育エコシステム構築支援事業、「産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業として、「G-City 推進のための「アントレプレナーシップ」の醸成」を提案している。その主旨として「北九州では、環境先進都市としての「グリーン」の力と、ものづくり企業の集積による「ものづくり」の力に、大学の「知」を融合することにより、世界を牽引する新たなイノベーションを創出する拠点とすべく「G-City」構想をまとめている。これを実現するためには、早稲田大学 IPS で北九州コンソーシアムで進めてきたリカレント・リスクリング事業である DX 推進事業にアントレプレナーシップの醸成、教育推進を加味することが必要である。北九州におけるアントレプレナーとは「モノづくりの街」として発展してきた土台に、産官学が一体として一つの方向に向かって迅速にイノベーションを起こす必要がある。そのためには、チームワーキング力、ロジカル思考力、アナロジー思考やバックトラッキングなどを通じて共通のコンセプトを作り上げるデザイン思考力の涵養が必要であり、セッションを繰り返し、相互理解を強め、地域の創生へとつなげていく。」ということをやっている。北九州コンソーシアムの中には DX 推進のリカレント事業として AsianDX 事業は既に存在しているものの、デザイン思考に関するものは今のところないので、北九州コンソーシアム内に設置し、事業が通ったときにスムーズに実施できる準備を始めたい。また、事業が通らなかった場合にも次年度以降の提案のために準備を始めたい。

デザイン思考の大まかな流れの一例は以下のとおりである。

内容

1) チームワーキングについて(Teamology by Doug. Wilde)

人間の思考にはその人の性格に起因した癖がある。(ユングの性格論, MBTI などのアンケート (16タイプ ([無料性格診断テスト | 16Personalities](#)))) この癖を自己理解し、他者の癖を理解し、異なるタイプの組合せによりチームを構成することでチームの創造性を高めることができる。ここでは、テーマを決め、性格の組合せにより、どのような話し合いの作法を身に付けていけばチームにより貢献できるのかを体感する。

- ・タイプ論の説明
- ・自己紹介・他己紹介
- ・テーマ1 (同じタイプでの議論)
- ・テーマ2 (組み合わせでの議論)
- ・テーマ3 (5分ルールでの議論)

2) ロジカル思考

あなたの伝えたいこと、きちんと伝わっていますか？ロジカルシンキング (論理的思考) を使えば、ビジネスや日常のコミュニケーションが驚くほどスムーズになります。「話がまとまらず、伝えたいことがうまく伝わらない」「会議やプレゼンの場で、自分の意見を相手に納得してもらえない」「指示や報告が不明確だと指摘される」といった悩みを抱えていませんか？こうしたコミュニケーションの課題は、ロジカルシンキングを身につけることで解決できます。本セミナーでは、論理的に考え、構造的に伝えるための「わかりやすく伝える技術」を習得し、仕事や日常生活で自分の考えを正確に伝える力を磨いていきます。(香川大学山中隆史先生)

3) デザイン思考 (アナロジー思考)

アナロジー思考は、東京大学からスピニングアウトした iSchool が採用したデザイン思考の方法です。様々な分野、様々な業態での成功事例、失敗事例からその要因を分析し、自分たちが与えられたテーマにどのようなアナロジーを見出しよりよい解を導くための思考方法になります。

前情報

以下の情報をご覧ください。うまくいっているものも、そうでないものも混在させています。うまくいっているものについてはなぜうまくいっているのか？うまくいっていないものについてはなぜうまくいっていないのか？それぞれの原因を考えてくださ

い。そのうえで今回のプロジェクトにおいてアナロジーとして流用できる要素をあげてセッションに臨んでください。

学研都市／コンパクトシティ関連

- ・ IMEC (<https://nihon-polymer.co.jp/2023/08/01/4467/>)
- ・ フラウンホーファー (<https://www.fraunhofer.jp/ja/aboutus/FhG.html>)
- ・ 鶴岡サイエンスパーク (<https://tsuruoka-sp.jp/>)
- ・ 川崎殿町キングスカイフロント (<https://www.king-skyfront.jp/>)
- ・ 柏の葉スマートシティ (<https://www.kashiwanoha-smartcity.com/>)
- ・ けいはんな学研都市 (<https://www.kri.or.jp/know/>)
- ・ 青森市コンパクトシティ (https://www.city.aomori.aomori.jp/toshi-seisaku/shiseijouhou/matidukuri/toshikeikaku/documents/aomorishi_masterplan_1.pdf)
- ・ 秋田市コンパクトシティ (<https://note.com/tonpoo/n/ne17df2990f74>)

オープンイノベーション

- ・ iWatch (<https://www.sbbi.jp/article/cont1/94974>)
- ・ セグウェイ (<https://gendai.media/articles/-/74038>)

地方でも大丈夫

- ・ いろどり (<https://irodori.co.jp/>)
- ・ 明石市少子化対策（これは調べれば沢山出てきます）
- ・ 沖縄の出生率が高いわけ（これは調べれば沢山出てきます）

4) デザイン思考（バックキャストイング）

バックキャストイングは、例えば、20年後、10年後にあるべき姿を想像します。その姿に近づくためにはどのようなコンセプトが必要なのかを考えていきます。次にそのコンセプトを実現するためのアイデアをたくさん出していきます。このように、現在から進むべき方向を見つけるのではなく、あるべき姿から逆に現在までの道筋を見出していこうという思考方法になります。